

令和4年度 第4回美里地域会議 会議録

日 時：令和4年7月14日（木）午後7時～午後8時40分

場 所：美里交流館 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞青木 徹、岡田 宏之、岡本 渉、笠松 保希、小林 忠雄、
代田 正晴、鷺見 等、千葉 善郎、豊田 博久、
中島 康隆、成田 恵美子、細川 章一、松村 洋、
望月 英光、山田 正見、山本 由和

＜美里交流館＞ 鈴木館長

＜高橋支所＞ 早川支所長、出口副支所長、塚田担当長、川瀬主査

＜内容＞

1 会長あいさつ

2 防災出前講座について【報告】

令和4年7月4日（月）に野見山自治区で防災出前講座（令和4年度美里地域課題解決事業）を開催したことを事務局が報告した。

3 地域課題解決事業について【協議】

（1）アンケート結果の情報提供について

令和3年度防災出前講座及び美里交流館祭で実施した地域課題に関するアンケート結果を事務局から情報提供した。

（2）松村副会長からの報告について

以下のとおり地域課題の聞き取りを行ったことを副会長から委員に情報提供した。

- ・ 広川町自治区長からは、交通安全が地域課題として上がった。
- ・ 高齢者クラブ会長からは、会員が集まらないという意見があった。

（3）地域課題の探し方について

地域課題集約のため、アンケートを実施する。アンケートの実施対象及び項目は、継続協議とする。参考資料として、美里地区のデータ及び他の地域で過去に実施した地域予算提案事業の事例をまとめたものを8月の地域会議で事務局から提供する。区長等に個別に地域課題の聞き取りを行うのは任意とする。

【アンケートに関する意見】

- ・ 出前講座でアンケートを行うと結果が出るのが来年度になってしまうので、別で一斉にアンケートを実施したらどうか。
- ・ 人を集めて意見を聞いても、意見は出てこないからやめた方がよい。アンケートを実施した方がよい。
- ・ 実施するアンケートの内容を地域会議で検討したらどうか。
- ・ アンケートを実施する場合、質問項目をもっと具体的にしたい。
- ・ どういう人にアンケートをするか、しっかり考えた方がよい。各種団体のリーダーを対象にアンケートを行ったらどうか。
- ・ 自治区でアンケートをとるなら、組長までにしたい。
- ・ アンケートは、言いたい放題になってしまう可能性がある。各自治区の集まり、子ども会、老人会、青年会に聞きたい。交通安全や防犯など、テーマを3つくらいに絞ってから、その中で困っていることを聞いたらどうか。

- ・アンケートで出てきた問題を、そのまま地域課題として取り扱うことは反対。地域会議委員として問題意識をもって課題を探し、提言した方が良いのでは。
- ・現在実施しているアンケートには意見を書く欄がないが、欄を設ければ、意見がある人は書くと思う。
- ・昨年度実施したアンケートで、地域課題として「その他」を選んだ人が、具体的な記述をしていたらその内容が知りたい。
(事務局回答) 来月提示する。

【地域課題の集約方法に関する意見】

- ・区長、子ども会、高齢者クラブ等の団体に個人的に話を聞きに行くか、座談会形式で話を聞くのはどうか。
- ・会長及び副会長で、地区区長会に出席して課題の聞き取りを行ったらどうか。
- ・東山町自治区では、各種団体と懇談会をして情報収集をしているが、「何かあるか」と聞いても出てこない。「防災の〇〇について」と、具体的な課題を示して聞かないと意見は出てこないと思う。
- ・大きな課題から解決できるように、この地域のことを勉強して、課題を探したい。この地域のことをまとめたデータがほしい。

【具体的な地域課題に関する意見】

- ・先ほど提案のあった交通安全を進めていったらどうか。
- ・他の地域会議で取り組んでいる事業の事例を把握したい。
(事務局回答) 地域課題解決事業は、今年度から制度が変わったため、どの地区も課題の探し方を模索中で、事例を示すことは難しい。旧地域課題解決事業で取り扱っていた課題であれば示すことができる。
- ・どういうスケジュールですすめたらいいか。
(事務局回答) 課題が確定したら提言すればよい。締切期限はなく、課題が無ければ提言しなくてもよい。ただし、令和5年度事業としたい場合は、来月までに提言書を確定させる必要があり、それ以降に提言されたものの事業化は令和6年度以降となる。
- ・地区区長会では防災をテーマにすることが決まっている。地域会議では別なテーマを取り組んでも良いが、区長の負担が大きくなることが心配。
- ・防災に取り組みたい。
(事務局回答) 令和3年度までの地域会議にて、美里地域課題解決事業で取り組む「防災対策」は自助力を高める取組とし、令和5年度で完了する計画となっている。「共助」については各自治区の状況が異なることから取り組まないことになったが、今後の話し合いで、美里地区の地域課題は「共助」だということになれば、それを市に提言してもらうこととなる。従来は、事業計画まで地域会議で考えていたが、今後は市が事業計画を考える。
- ・防災は、県や市が考えたものを地域に落とし込めばよいのでは。地域会議レベルでできることは少ないのではないか。
- ・交通安全の場合、住人の意識を高めても、住人でない人（仕事で来ている人）の意識が高まらないと効果は低い。企業側にも提示できるものがあるといいのではないか。

6 事務連絡

(1) 美里地域会議への諮問予定について

山村条例の理念の実現に向けた今後の取組の参考にするため、企画課から諮問予定。山村地域に対する理解を深めた上で諮問に答えるために、山村地域の現地見学のほか、山村地域の住民や活動者等との意見交換を予定している。

(2) わくわく事業活動団体訪問について

追加で訪問したい団体があれば、7月中に高橋支所へ連絡する。

(3) 地域会議だよりについて

今年度から、地域会議だよりは高橋支所が作成する。発行回数及び発行時期は、高橋支所に一任することで合意した。

(4) 令和4年度第5回美里地域会議について

令和4年8月18日（木）19時～ 美里交流館 多目的ホールにて開催。